



歴史講座バスツアー

令和7年11月30日(日)

野中兼山にまつわる史跡等を巡りながら
郷土の歴史にふれてみませんか。

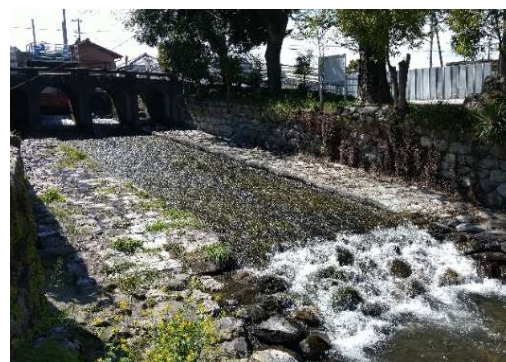


中部発着コース ～タイムテーブル～

8:10	土佐町役場 出発
8:25	本山町保健福祉センター
8:40	旧大豊町役場
9:25	はりまや橋観光バスターミナル
10:00	八田堰見学(車中)【いの町八田】
10:10~10:30	見学・歴史講座① 新川の落とし【高知市春野町】
10:40~11:10	資料館見学(解説あり)【春野郷土資料館】
11:30~12:10	昼食【桂浜】
13:00~13:40	見学・歴史講座② 山田堰【香美市】
13:40~	アンケート記入／解散 (香美市→高知市→大豊町→本山町→土佐町)



新川のおとし (高知市) *shinkawanootoshi*



弘岡井筋は農業面の灌漑用水としてだけでなく、交通路としても利用されました。かつて、奥仁淀の村々の木材や薪炭などは仁淀川を下り、仁淀川河口から太平洋に出て、浦戸湾から城下へ運ばれていましたが、八田堰と弘岡井筋建設以降、上流からの物資は井筋を通り、新川川を経て浦戸湾へと入るようになりました。ただし、井筋と新川川には高低差があったため、新川川の入口に高低差を調節するための「おとし」がつけられました。

山田堰 (香美市) *yamadazeki*



土佐山田町小田島から神母ノ木(いげのき)にかけて物部川を横断する水切り堰です。寛永16(1639)年、土佐藩家老の野中兼山は先人の遺した業績をもとに、大量の石材と木材を使って、長さ327メートル、幅11メートル、高さ約1.5メートルの堰を築きました。完成まで26年を要したといわれています。堰は下流の平野を潤し、多くの米収を得て、さらに舟入川の運輸を利用することにより、土佐藩の経済に大きく貢献しました。